

(様式2)

令和6年 9月19日

高松市教育委員会
保健体育課長 殿

学校名 高松市立下笠居小学校
校長名 北 村 直 行

公印
省略

令和6年度 高松市防災教育講師派遣事業報告書

次のとおり、事業を実施したので、報告します。

学校の名称	高松市立下笠居小学校
派遣内容	防災に関する出前授業
日時	令和 6年 9月11日 (水) 13:35 ~ 15:15
場所	下笠居小学校家庭科室
対象者 参加人数	児童数 38 名 クラス数 2 クラス 教職員 5 名 その他 1 名 (四国新聞社)
内容・日程等	5時間目 「急な大雨から 身を守る」 6時間目 「下笠居小学校区の防災」
取組における成果	・急な大雨や落雷の時には、慌てないで行動することの大切さを、映像や講話から理解することができた。また、下笠居地区には大きな建物等がないので、広い場所で落雷を避けるための方法も教えていただいた。 ・下笠居で過去に土砂崩れがあった場所を知ること、他人事ではなく、自分ごととして災害を捉えることができた。教えてくださったことで、今後、地域の方々に「災害から身を守る」方法を発信していこうとする児童の意識が、以前より高まってきた。
今後の課題	・児童に伝える時の講師の方の声が小さくて、とても大事な説明なのだが聞き取りにくい場面もあった。クラス全体に届く声で話すことは、教育現場では当たり前だが、そうでない仕事現場もある。マイクを利用して講話をしていただくなど、工夫が必要だと感じた。 ・話を聞くだけでなく、操作活動等もあれば、児童の興味はもっと高まるだろうと感じた。児童の質問等の時間もとれるように、事前に話合う時間をとることが必要だと思う。講師の先生もご自分の仕事があるので、打ち合わせの時間が取りにくいということもあり、今回はメールで数回のやり取りをして当日を迎えた。児童が今何を知りたいと思っているのか、学校サイドも把握しておくことが肝要だと思う。

注) 当日の写真、資料等がありましたら、A4縦で添付してください。



◆ 下笠居小

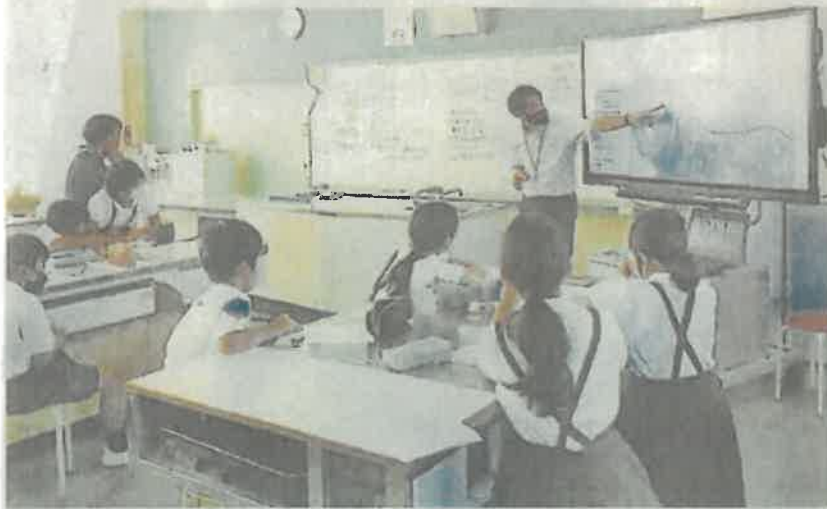
高松市生島町の下笠居小学校（北村直行校長）で11日、高松地方気象台の職員による防災の出前授業が行われた。参加した児童たちは、地域に潜む災害時の危険について学び、万一の場合の対処方法や事前にできる備えなどについて理解を深めた。

同校では、5年生38人が総合的な学習の一環で防災をテーマに学習。児童に防災の知識を深め、有事の際に自分たちができることを考えてもらおうと、市教委の市防災教育講師派遣事業を活用して授業を開催した。

この日は、同気象台の職員2人が訪れ、急な大雨や雷などから身を守る方法について動画やクイズなどを交えて説明。2011年の台風などによる大雨で、土砂崩れが起こった校区内の様子を収めた写真のほか、校区のハザードマップなどを示し、「山に囲まれた地域なので土砂災害への注意が必要。山鳴りや崖の上か

また地震や台風などに対する事前
にできる備えなどとして、▽天気予
報やハザードマップの確認▽非常食
の準備▽訓練への参加などを伝え
た。

高松葵さん(11)は「地震や台風だ
けでなく、竜巻や雷の怖さもよく分
かった。いろいろな危険から身の安
全を守るように備え、行動したい」
と話していた。



防災学習 児童熱心に